\$1A **

今週の献立表



* てしろもりの丘

*/

*

	1月20日(月)		1月21日(火)		1月22日(水)		1月23日(木)		1月24日(金)		1月25日(土)		1月26日(日)		
朝まう食いよく	ご飯		ご飯	版		ご飯		ご飯		ご飯		ご飯		ご飯	
	みそしる 味噌汁		^{みをしる} 味噌汁		^{みをしる} 味噌汁		^{みそしる} 味噌汁		^{みそしる} 味噌汁		_{みそしる} 味 噌汁		^{みをしる} 味噌汁		
	オムレツ		焼き魚 ほっけ		<u>なっとう</u> 納豆		たまごどうふ 卵豆腐		けんちん炒め		さんまの生姜煮		なっとう 納豆		
	魚肉ソーセージのソテー		いんげんの金平		またげんきい いた もの 青梗菜の炒め物		大根とアサリの炒り煮		ほうれん草のなめたけ和え		きんぴられんこん		キャベツとさつま揚げの炒り煮		
	味のり						ふりかけ		たいみそ						
	507 kcal		517 kcal		567 kcal		496 kcal		525 kcal		572 kcal		507 kcal		
昼 ゅう 食にく	ゆかりご飯		ご飯		親子 丼		ご飯		鮭のちらし寿司		醤油ラーメン		ご飯		
	鱈の味噌マヨネーズ焼き		ぎせいどうふ 擬製豆腐		ツナとほうれん草の辛し和え		すき焼き風煮		いんげんとささみの中華胡麻和え		. ぎょうざ		Str. く Lu j がいた 豚肉の生姜炒め		
	根菜の金平		菜の花とえのきの胡麻和え				ブロッコリーとトマトのサラダ		パイン		もやしとにらのナムル		マカロニサラダ		
	りんご		マンゴー				みかん		牛乳		マンゴー		オレンジ		
	ぎゅうにゅう 牛乳		にゅうさんきんいんりょう 乳酸菌飲料				ぎゅうにゅう 牛乳				<i>ぎゅうにゅう</i> 牛乳		ぎゅうにゅう 牛乳		
	737 kcal		556 kcal		746 kcal		708 kcal		702 kcal		713 kcal		816 kcal		
夕 ゅう 食しょく	ソースかつ丼		ご飯		ご飯		ご飯		豚丼 トッピング選択		ご飯		ご飯		
	すまし汁		スープカレー		みそしる 味噌汁		味噌汁		(温泉卵、キムチ、チーズ)		^{とりにく} みそづけた 鶏肉の味噌漬け焼き		くだくさん 具沢山みそ汁		
	わかめとえのきの酢の物		海藻サラダ		和風ハンバーグ		鯖の南蛮漬け		^{みそしる} 味噌汁		春菊の胡麻和え		鯵のゴマダレ漬け焼き		
	オレンジ		バナナ		れんこんとキャベツのサラダ		ちくぜんに <mark>筑前煮</mark>		カラフルサラダ		フルーツヨーグルト		まんげんさい ちゅうかあ 青梗菜の中華和え		
					キウイ		杏仁フルーツ		バナナ				黒糖蒸しパン		
	670 kcal		672 kcal		659 kcal		748 kcal		851 kcal		589 kcal		711 kcal		
1 日の栄養量	エネルギー	1914kcal	エネルギー	1745kcal	エネルギー	1972kcal	エネルギー	1952kcal	エネルギー	2078kcal	エネルギー	1874kcal	エネルギー	2034kcal	
	たんぱく質	64g	たんぱく質	66g	たんぱく質	81g	たんぱく質	70g	たんぱく質	83g	たんぱく質	73g	たんぱく質	74g	
	ししつ 脂質	48g	ししつ 脂質	29g	ししつ 脂質	52g	ししつ 脂質	53g	ししつ 脂質	55g	ししつ 脂質	49g	ししつ 脂質	52g	
里 り	しょくえんそうとうりょう 食塩相当量	8.6g	しょくえんそうとうりょう 食塩相当量	6.4g	しょくえんそうとうりょう 食塩相当量	7.5g	しょくえんそうとうりょう 食塩相当量	7.7g	しょくえんそうとうりょう 食塩相当量	9.5g	しょくえんそうとうりょう 食塩相当量	7.9g	食塩相当量	6.3g	
	だいかん				***		+ + + + + + + +						てをあらおう	うがいをしよう	

1月20日は「大寒」です。一年で最も寒い時期とされ、寒稽古など、耐寒(寒さに耐えること)のためのいろいろな行事が行われます。また、寒仕込みといって、寒気(寒くて冷たい空気)を利用した食べ物(しみ豆腐、寒天、猫、みそなど)を仕込むのに最も良い時期とされています。寒いと党養力が下がり態染症にかかりやすくなりますので、手洗い、うがいをしっかりと行い、態染症を予防しましょう。党養力を高めるためには腸内環境を整えることも大切です。私たちの消化器管の一つ、小腸は6~7メートルの長さがあり、染養を吸収だけではなく党養機能を調整する働きがあります。野菜をたくさん食べることで染養がゆっくりと吸収され、食べ物が小腸にある免養細胞に触れることで発養力を高めることができるといわれています。腸内環境を整えてくれる食材は、納豆、ヨーグルト、キムチなどの発酵食品や海藻や菓物、野菜に含まれる食物繊維がいいとされていますが、色々な食材をよく噛んでたべることが一番です!
☆24日の労食は、利用者さんのリクエストの豚丼トッピング選択メニューです。人気はキムチとなりました!